

室蘭港

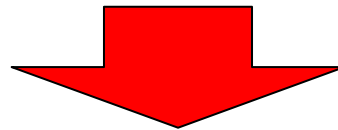


室蘭の今昔

	昭和44年	平成15年
人口 <small>*住民基本台帳</small>	183,125人	101,442人
世帯数	47,257世帯	47,530世帯
事業所数 <small>*工業統計</small>	207事業所	227事業所
従業者数	17,978人	7,561人
製造品出荷額	19,11億円 <small>33,10億円 * 国内企業物価指数より</small>	56,91億円
入港船舶数	11,402隻	7,949隻
総トン数	19,487,905トン	29,188,101トン

第2回全国都市再生モデル調査 背景

このような状況に対して、地元主要企業やNPO法人等により様々な取り組みがなされているが、市民にとっては、それらの活動と「まちづくりとの接点」や「まちづくりへの波及効果」がよく見えていないのが現状である。



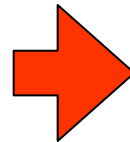
市民団体、商店街、企業、行政と連携により、地元主要企業の新たな取り組み、都市再生の動き、中心市街地・商店街施設などの活用を、「まちづくり」の計画、事業に波及・連動させる施策の検討と、市民、商業、企業、行政との意識の共有化を図ることは、室蘭市にかつての「にぎわい」を取り戻す上で大きな意義を持っている事業と位置づけられる。

第2回全国都市再生モデル調査 目的

市内各地域でまちづくりに取り組んでいるNPOや市民グループ、地元商店街関係者、地元企業と連携しながら、かつて賑わっていた「まち」を元気にするために、地元主要工場の新たな取組(廃棄物・リサイクル対策、PCB処理対策)、都市再生の動き(「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に室蘭市臨海地域が指定)、既存ストック等を有効に活用する方策を検討する。

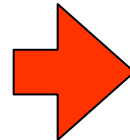
第2回全国都市再生モデル調査～調査構成

(1) 現状把握



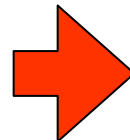
統計資料分析
地域実態(既存ストック)調査

(2) 実験検証



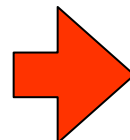
以下の3イベントでアンケート調査
スワンフェスタ
アイアンフェスタ
豪華客船ウエルカムイベント

(3) 方策検討



地元主要工場の新たな取り組みを活用する方策
都市再生の動きを活用する方策
既存ストックを有効活用する方策

(4) 共有・交流のステージ

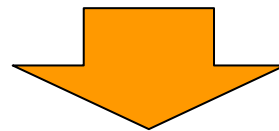


「まち」元気にする
シンポジウムの開催

第2回全国都市再生モデル調査～方策検討

室蘭を元気にするためには、今そしてこれからの産業集積、都市計画(施設)、市民活動、イベント等を、地域全体の「もてなし」として統合する機能を整備することが基本的な方策である。

統合機能の整備とは、様々な市民活動、企業の取り組み、都市計画を、「もてなし」をコンセプトとするコミュニティづくり結びつけ、その情報を内外に発信し、次世代へ受け継がせて行くリーダーシップを持つ「人づくり」であり、これこそが室蘭を元気にする核心である。



市民・NPO・団体・企業・行政等の様々な取り組みや情報を、地域全体での「もてなし」の取り組みとして統合(コーディネート)する「人づくり」施策

スワンフェスタ



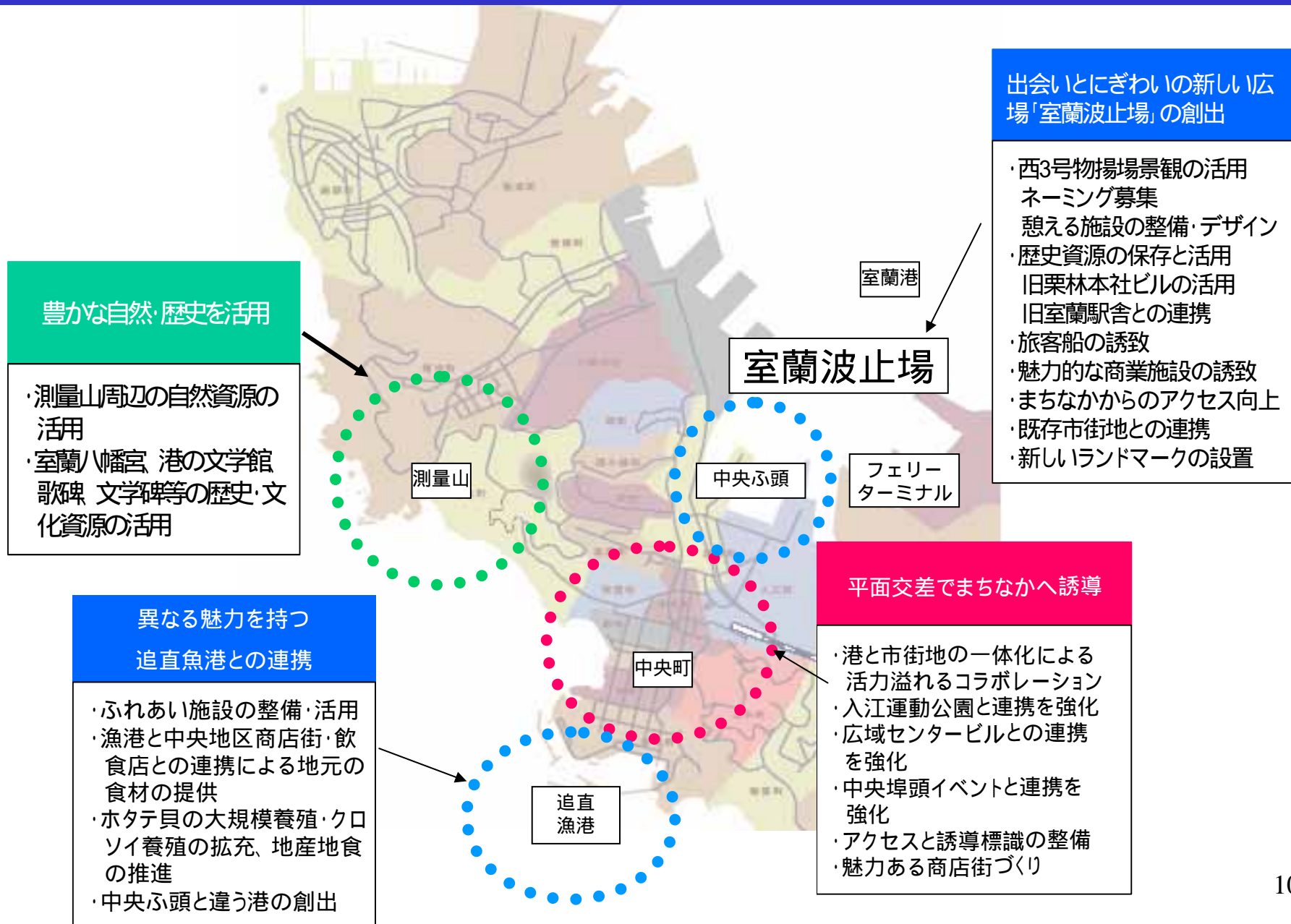
アイアンフェスタ



～まちを元気にするシンポジウム開催



「まち」を元気にする方策の提言～「室蘭はあとポート計画」



「成せば鳴る」蘭の鐘プロジェクト

我々NPO法人羅針盤は、本プロジェクトによって臨海工業都市むろらの象徴とも言える「ものづくり」の技術を最大限活用し、「ものづくりのまちむろら」を元気にする方策として、一般市民や、企業、大学、行政の連携のもと、世界一(目標:ギネスブック認証)の希望の鐘「成せば鳴る蘭の鐘」設置、実現に向け、進める計画です。

「港立市民大学大学院」プロジェクト

現在、「室蘭大好き人間」を増やし、港と一体となった夢の描けるまちづくりを目指して、室蘭市民の有志が平成16年度に開校した「室蘭港立市民大学」が活動している。

市民大学は年7回の講座を開催し、在学期間は1年。卒業生は2年間で約130人にのぼっている。

そこで、「室蘭港立市民大学」の卒業生を対象に、「(仮)室蘭港立市民大学大学院」を開校して、「まちづくりを実践する人材」の育成を図る。

ダイヤモンドプリンセス入港



「市営3号倉庫」アート・ペインティング

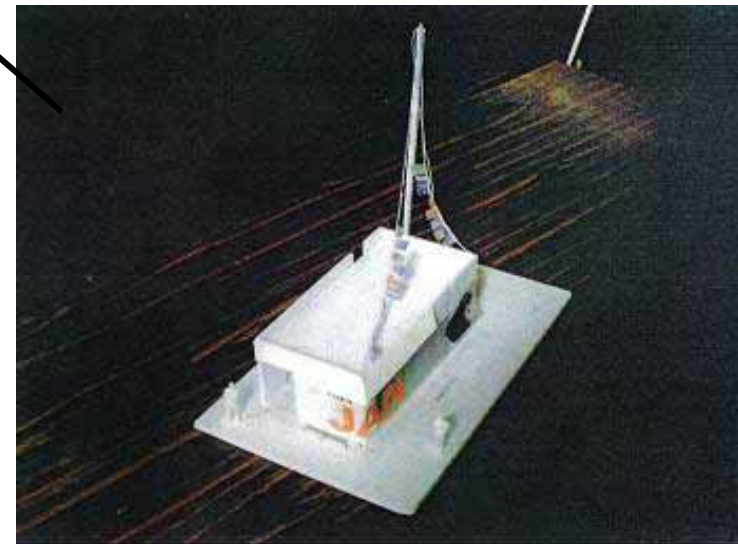


市営3号倉庫現況



日本製鋼所13本整列煙突現況

ウエルカム「旗」プロジェクト



室蘭港中央埠頭トイレの整備イメージ

第2回全国都市再生モデル調査 課題

現状の産業集積、施設、市民活動、イベントを活用する仕組み・仕掛けを創ることで、「まち」を元気にする可能性が高い。そのためには「出会い」「交流」の他に、「統合」の機能も必要不可欠である。「統合」とは、リーダーシップである。リーダーシップを持つ人づくりを制度化し、室蘭港を「水のある大きな広場」として、様々な市民活動、企業の取り組み、都市計画と結びつけ、活用し、その情報を内外に発信したり、次世代に受け継がせて行くことが、室蘭を元気にする方向性である。